南あわじ市 平成 20 年度 事務事業評価シート 口 新規 ☑ 継続 .____ (事業 委託 補助用)

· · · · · · · · · · · · · · · · · · · 	ᆂᅚ	\		1110-00	,					
I 基本	<u> </u>						整理	番号	45	3
事業名 子育て学習センター				予	会計	一般会	計・1			
尹 未 口	J	(子目ピノノ		算	款	民生費・3款				
担当部課名	健康福	祉部 少子対策課		科	項	児童福	祉費・2	頃		
電話	0799	9 - 44 - 3040		目	目	少子対	策費・7	目		
古光八籽		義務的(法定)事務	法的根拠						<i>t</i> η ±π≘	空 邢 ⁄四
事業分類	✓ .	任意的(自治)事務	(法令、条例、要	南あわじ市子育て学習センター設置要			直安 紃			
まちづくりの柱			安らぎづくり元気あふれ住んで快適なまちづくり							
南あわじ市総		まちづくりの目標	子どもを産みた	<u>:い</u> 育	1育てたいまち【子育て】					
施策体系	施策目標		子どもや要介護者をもつ共働き夫婦などが、安心して生活できる							
		心來日信	よう、地域全体で支える							
該当する事業について「」を選択			施策的事業		業別	务委託		負担	金補助	

Ⅱ Plan (計画、事業内容、事業背景)

_ш	Piai	(訂世、争耒内谷、争耒自京)	
		対象(誰を・どのような状況の人に)	
		市内の乳幼児を持つ両親	対象人数(人)
			450
	目	意図(どのような状態になってもらいたいのか、事業を実施する「本来の目的	
	66	子育て中の両親を支援し、子育て相談・交流・研修会・あそびの広場等季	
	的	事を中心に親の仲間づくりの支援を行うと同時に子育て支援ボランティアの とする。	育成を目的
		(何をどのような手段・内容・手順により目的を達成させるのか)	
事		市内旧町単位に4センターを設置。センターにインストラクターとアシス	タントの2
業	実	名を配置し、週4日それぞれが開設されている。利用者は登録制とし、市内	
木	施	センターでも受講できるように開設日、内容を工夫している。	
概	内		
	容		
要			
		(どのような現状・課題・要望によって事業が実施されるに至ったか、他の自治体	
		もともと文部科学省の事業として、各市町に両親インストラクターを配置	
	背	教育等を行ってきたが、最近は、教育委員会部局から少子対策の施策の一環 部局に移行してきている。当市も平成19年度に健康福祉部に移管された。	
	-5	代育成事業としての役割は大きいと考えられる。平成20年度から市内2箇	
	景	4 土曜日にも開設して子どもと父親の参加も促していきたい。	
	事業	美実施主体 ✓ 市直営 ✓ 民間・その他 ()
		(設定なし
合		(合併前においての事業実施団体と合併時における事務調整経緯)	
併			新市から
協議		の学習センターを継続して事業を実施する。 4 センターをネットワーク化し	て市民が気
事	軽に参	加できる体制を構築する。	
務			
調			
整			
内容			
Ť			

Ⅲ Do(事業活動・成果、投入資源・コスト)

日標値設定 の考え方 中成19年度 中成20年度 中成21年度 中成31年度 中、日本度 中、日本度 日本度	_Ш	<u>DU</u>	<u>. 尹未</u>	活動・	ואלו	木、江	又八月	<u> ほい・コス</u>	トノ			
「実施内容」により得られる 活動器 規模				指	橝	名	学習	ヤンター登録	者 数	3		
「実施内容」により得られる 活動給果指標				JH	1335	Н	,-E	一一 / 五塚		人		
「お助結果指標		「実施内容」に				•						
日標値								平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	
(アウトブット) 実績値 達成度 (%) - 109.6 - 109.6 - 109.6		切結果抗	1標	B	標	値		-			500	
達成度 (%) - 109.6 - 109.6 - 109.6 - 日標値設定 の考え方 録制に変更した。 指標単位 人 指標説明 (指標算出方法等) 事業量1(事務費 (千円) 12.381 11.367 12.288 11.88	(776	っト プぃ	, L)					_				
日標値設定 の考え方 録制に変更した。 指標単位 人 指標説明 (指標算出方法等) 事業参加者延べ人数 指標説明 (指標算出方法等) 事業参加者延べ人数 「自的」に対する 事業の成果指標 日 標 値 25,000 25,000 25,500 26, 26, 261 25,330 26, 26, 262 26, 262 25, 330 26, 26, 262 26, 262 26, 262 26, 263 26,		ノトノッ	ייי אי				(%)	_		_		
指標 名 事業に参加した人数				目標値設定		平成	平成19年度より参加する親子の実態					
指標説明				指	樰	名	事業	に参加した人	数	3	指標単位	
指標算出方法等				11	ាភ	н	尹未	に多加りた人	××		人	
事業の成果指標	達				┃ /比無祭山犬は然、┃ 事第		事業					
(アウトカム) 実績値 22,621 25,330 達成度 (%) 90.5 101.3 - 101.3												
では、 で	争業	の放果	指標								26,000	
日標値設定 の考え方 少子化にともない前年度実績に基づき設定 の考え方 少子化にともない前年度実績に基づき設定 可接事業費 (千円) 12,381 11,367 12,289 11 報酬・賃金・報償費など 10,767 9,424 10,957 10,需要費・役務費・賃借料など 1,614 1,943 1,332 1,	(77	ウトカ	۸)									
PTILIC ともない III 中		7 173	<u>ا</u> (ک	達	成	度	(%)	90.5	101.3	-	-	
直接事業費 (千円) 12,381 11,367 12,289 11 報酬・賃金・報償費など 10,767 9,424 10,957 10,需要費・役務費・賃借料など 1,614 1,943 1,332 1,						少子						
報酬・賃金・報償費など 10,767 9,424 10,957 10, 需要費・役務費・賃借料など 1,614 1,943 1,332 1, 財 源 (千円)					NIV -#=							
需要費・役務費・賃借料など 1,614 1,943 1,332 1,		r										
演										10,581		
原 ・		需要費・役務費・賃借料など			など	1,614	1,943	1,332	1,126			
原 ・												
財 源 (千円) 国 日 日 日 日 日 日 日 日 日	資											
財 源 (千円) 国 日 日 日 日 日 日 日 日 日)E											
国 原 記債 その他 一般財源[A] 12,381 11,367 12,289 11 人件費(正規職員)[B] (千円) 897 903 837 平均人件費(1日当り) 29.9 30.1 27.9 事業量1(事業に要した日数) 30 30 事業量2(事業に要した人数) 1 1 1 年間経費([A]+[B]) 13,278 12,270 13,126 12, 「目的」対象人数1人当り経費 (千円) 29.5 27.3 29.2 受益者人数(450)1人当り経費(千円) 29.5 27.3 29.2	源				,							
日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日	配			財			(千円)					
起債	HO											
上債 その他 12,381 11,367 12,289 11 人件費(正規職員)[B] (千円) 897 903 837 平均人件費(1日当り) 29.9 30.1 27.9 事業量1(事業に要した日数) 30 30 30 事業量2(事業に要した人数) 1 1 1 年間経費([A]+[B]) 13,278 12,270 13,126 12, 「目的」対象人数1人当り経費 (千円) 29.5 27.3 29.2 29.2 20.2 <th>分</th> <th colspan="4"></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th>	分											
イ 一般財源[A] 12,381 11,367 12,289 11 人件費(正規職員)[B] (千円) 897 903 837 平均人件費(1日当り) 29.9 30.1 27.9 事業量1(事業に要した日数) 30 30 30 事業量2(事業に要した人数) 1 1 1 年間経費([A]+[B]) 13,278 12,270 13,126 12, 「目的」対象人数1人当り経費 (千円) 29.5 27.3 29.2 29.2 受益者人数(450)1人当り経費(千円) 29.5 27.3 29.2												
人件費(正規職員)[B] (千円) 897 903 837 平均人件費(1日当り) 29.9 30.1 27.9 事業量1(事業に要した日数) 30 30 30 事業量2(事業に要した人数) 1 1 1 中間経費([A]+[B]) 13,278 12,270 13,126 12,127 「目的」対象人数1人当り経費 (千円) 29.5 27.3 29.2 受益者人数(450)1人当り経費(千円) 29.5 27.3 29.2												
マウノ・アウ人件費(1日当り) 29.9 30.1 27.9 事業量1(事業に要した日数) 30 30 30 事業量2(事業に要した人数) 1 1 1 年間経費([A]+[B]) 13,278 12,270 13,126 12, 「目的」対象人数1人当り経費 (千円) 29.5 27.3 29.2 29.2 受益者人数(450)1人当り経費(千円) 29.5 27.3 29.2 29.2	1	is x is it is							,	11,707		
プ	٠,								837			
事業量2(事業に要した人数) 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1										27.9		
事業量2(事業に要した人数) 1 1 1 中間経費([A]+[B]) 13,278 12,270 13,126 12, 「目的」対象人数1人当り経費 (千円) 29.5 27.3 29.2 受益者人数(450)1人当り経費 (千円) 29.5 27.3 29.2	プ	· · · · · · · · · · · · · · · · · ·					30	30	30	30		
ト 「目的」対象人数1人当り経費 (千円) 29.5 27.3 29.2 受益者人数(450)1人当り経費(千円) 29.5 27.3 29.2							、数)	•	1	1	1	
受益者人数(450)1人当り経費(千円) 29.5 27.3 29.2	ッ									·		
	 							27.9				
経費に関する)	受益者	人数(450)	1人	当り経費	(千円)	29.5	27.3	29.2	27.9	
補足説明												

Ⅳ Check(事業の自己評価・一次評価)

<u>IV</u>	Check(事業の自己評価	<u> </u>	<u>·次評価)</u>				
		単位	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21	年度
	活動結果指標目標達成度	%	-	109.6	-		-
	(アウトプットの達成度分析、問題点						_
達	平成19年度から登録制を実施					t。特 <mark>/</mark>	(自 己
達成	【に1歳~2歳の参加者は、出生数	の約4	0 %の方が登録	渌して事業に参	鯵加している。		点評
度							点品
) іщ
							1
							4
		単位	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21	年度
	成果指標目標達成度	%	90.5	101.3	ı		-
	成果向上率	%	3.4	12.0	-		-
	事業実施による目的に対しての有効	· 边性分析	f、問題点·課題	風などを記入。)			
有	平日の参加者は、子どもとお母	さんが	多いが、最近し	は子どもとおう	くさんの参加も	ら増え <mark>/</mark>	(1) 自
効性	┃た。特に土・日のイベントは子ど	もと両	親がそろってタ	参加する傾向だ	が増加した。		5 己点
I II							点計して
							О
							_
							5
		単位	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21	年度
	活動実績1単位当り経費	千円	-	24.9	-		-
	効率性増減率	%	-	-	-		-
	(効率性・コストの分析、問題点・課題	夏などを					
効率性	4 センターが事業内容や研修等	を合同	で実施するよう	うにして効率を	E高めるように	工夫	(1) 自
性	してきた。						5 己点
1 1 1							点計して
							· 1m
							4
	公共性の高低 ☑ 高		ф 🗆	低			
	(公共性、市民ニーズ、緊急性などを		問題点・課題な	どを記入。)			4
u'X.	(公共性、市民ニーズ、緊急性などを 4 センターの事業をできるだけ	特色を	問題点·課題な 持たせて市民の	どを記入。) カニーズに対M		工夫	4
	(公共性、市民ニーズ、緊急性などを	特色を	問題点·課題な 持たせて市民の	どを記入。) カニーズに対M		工夫	4 自己
必要性	(公共性、市民ニーズ、緊急性などを 4 センターの事業をできるだけ	特色を	問題点·課題な 持たせて市民の	どを記入。) カニーズに対M		工夫	4
要	(公共性、市民ニーズ、緊急性などを 4 センターの事業をできるだけ	特色を	問題点·課題な 持たせて市民の	どを記入。) カニーズに対M		工夫	4 自己評
要	(公共性、市民ニーズ、緊急性などを 4 センターの事業をできるだけ	特色を	問題点·課題な 持たせて市民の	どを記入。) カニーズに対M		工夫	4 自己評価
要	(公共性、市民ニーズ、緊急性などを 4 センターの事業をできるだけ した結果、登録者数や参加者数が	特色を	問題点·課題な 持たせて市民の	どを記入。) カニーズに対M		工夫	4 自己評
要	(公共性、市民ニーズ、緊急性などを 4 センターの事業をできるだけ した結果、登録者数や参加者数が 自己評価をふまえた現状	特色を 増大し 分析	問題点・課題な持たせて市民(ている。 平成	どを記入。) カニーズに対M		工夫	4 自己評価
要	(公共性、市民ニーズ、緊急性などを 4センターの事業をできるだけ した結果、登録者数や参加者数が 自己評価をふまえた現状 親子のふれあいを通して自然体	特色を 増大し 分析 験や仲	問題点・課題な持たせて市民ででいる。平成でいる。	どを記入。) カニーズに対所 19年度登録者		工夫	4 自己評価
要	(公共性、市民ニーズ、緊急性などを 4 センターの事業をできるだけ した結果、登録者数や参加者数が 自己評価をふまえた現状 親子のふれあいを通して自然体 に大いに寄与していると考えられ	特色を 増大 <u>分</u> 析 験 る。特	問題点・課題な持たせて市民のている。平成でいる。平成である。	どを記入。) カニーズに対M		工夫	4 自己評価
要	(公共性、市民ニーズ、緊急性などを 4 センターの事業をできるだけ した結果、登録者数や参加者数が 自己評価をふまえた現状が 親子のふれあいを通して自然体 に大いに寄与していると考えられ から嫁いできたお母さんには友達	特増 分験る が が が が が が が の の の の の の の の の の の の の	問題点・課題な持たせて市民のでいる。平成でいる。平成である。平成である。	どを記入。) のニーズに対所 19年度登録者	首数 2,048人	工夫	4 自己評価
要	(公共性、市民ニーズ、緊急性などを 4 センターの事業をできるだけ した結果、登録者数や参加者数が 親子のふれあいを通して自然体 に大いに寄与していると考えられ から嫁いできたお母さんには友達 大きい。また一人で子育てについ	特増 分験る作で がい。 がい。 がい。 がい。 がい。 がい。 がい。 がい。	問題点・課題な持たせて市民ので割にすり、では割にする。平成である。平成である。平成である。平成である。平成である。平成である。平成である。平成である。平成である。平成である。平成である。平成である。	どを記入。) のニーズに対所 19年度登録者		工夫	4 自己評価
要	(公共性、市民ニーズ、緊急性などを 4 センターの事業をできるだけ した結果、登録者数や参加者数が 親子のふれあいを通して自然体 に大いに寄与していると考えられ から嫁いできたお母さんには友達 大きい。また一人で子育てについ なく、多くのお母さんたちと悩み	特増 分験る作てを がい。り悩共 がいます。 分験る作でを がいます。 がは、 がは、 がは、 がいます。 がいます。 がいまする。 のいまる。 のいまる。 。 のいまる。 のいまる。 のいまる。 のいまる。 のいまる。 のいまる。 のいまる。 のいまる。 のいまる。 のいまる。 のいまる。 のいまる。 のいまる。 のいる。 のいる。 のいる。 のいる。 のいる。 のいる。 のい。 。 のい。 のいる。 。 のいる。 のいる。 。 のいる。 のいる。 のい。 のい。 。 。 のい。 。 のい。 のい。 のい。	問題点·課題な 持たせている。 でいる。 でかいはは でで割に ででで でで でで でで でで でで でで でで でで でしまして でしまして でしまして でしまして でしまして でしまして でしまして でしまして でしまして でしまして でしました でしま でしま でしま でしま でしま でしま でしま でしま でしま でしま	どを記入。) のニーズに対所 19年度登録者	首数 2,048人	工夫	4 自己評価
要性	(公共性、市民ニーズ、緊急性などを 4 センターの事業をできるだけ した結果、登録者数や参加者数が 親子のふれあいを通して自然体 に大いに寄与していると考えられ から嫁いできたお母さんには友達 大きい。また一人で子育てについ	特増 分験る作てを がい。り悩共 がいます。 分験る作でを がいます。 がは、 がは、 がは、 がいます。 がいます。 がいまする。 のいまる。 のいまる。 。 のいまる。 のいまる。 のいまる。 のいまる。 のいまる。 のいまる。 のいまる。 のいまる。 のいまる。 のいまる。 のいまる。 のいまる。 のいまる。 のいる。 のいる。 のいる。 のいる。 のいる。 のいる。 のい。 。 のい。 のいる。 。 のいる。 のいる。 。 のいる。 のいる。 のい。 のい。 。 。 のい。 。 のい。 のい。 のい。	問題点·課題な 持たせている。 でいる。 でかいはは でで割に ででで でで でで でで でで でで でで でで でで でしまして でしまして でしまして でしまして でしまして でしまして でしまして でしまして でしまして でしまして でしました でしま でしま でしま でしま でしま でしま でしま でしま でしま でしま	どを記入。) のニーズに対所 19年度登録者	首数 2,048人	工夫	4 自己評価
要性	(公共性、市民ニーズ、緊急性などを 4 センターの事業をできるだけ した結果、登録者数や参加者数が 親子のふれあいを通して自然体 に大いに寄与していると考えられ から嫁いできたお母さんには友達 大きい。また一人で子育てについ なく、多くのお母さんたちと悩み 題を解決する場としての機能が発	特増 分験る作てを がい。り悩共 がいます。 分験る作でを がいます。 がは、 がは、 がは、 がいます。 がいます。 がいまする。 のいまる。 のいまる。 。 のいまる。 のいまる。 のいまる。 のいまる。 のいまる。 のいまる。 のいまる。 のいまる。 のいまる。 のいまる。 のいまる。 のいまる。 のいまる。 のいる。 のいる。 のいる。 のいる。 のいる。 のいる。 のい。 。 のい。 のいる。 。 のいる。 のいる。 。 のいる。 のいる。 のい。 のい。 。 。 のい。 。 のい。 のい。 のい。	問題点·課題な 持たせている。 でいる。 でかいはは でで割に ででで でで でで でで でで でで でで でで でで でしまして でしまして でしまして でしまして でしまして でしまして でしまして でしまして でしまして でしまして でしました でしま でしま でしま でしま でしま でしま でしま でしま でしま でしま	どを記入。) のニーズに対所 19年度登録者	首数 2,048人	工夫	4 自己評価
要性	(公共性、市民ニーズ、緊急性などを 4 センターの事業をできるだけ した結果、登録者数や参加者数が 親子のふれあいを通して自然体 に大いに寄与していると考えられ から嫁いできたお母さんには友達 大きい。また一人で子育てについ なく、多くのお母さんたちと悩み 題を解決する場としての機能が発	特増 分験る作てを がい。り悩共 がいます。 分験る作でを がいます。 がは、 がは、 がは、 がいます。 がいます。 がいまする。 のいまる。 のいまる。 。 のいまる。 のいまる。 のいまる。 のいまる。 のいまる。 のいまる。 のいまる。 のいまる。 のいまる。 のいまる。 のいまる。 のいまる。 のいまる。 のいる。 のいる。 のいる。 のいる。 のいる。 のいる。 のい。 。 のい。 のいる。 。 のいる。 のいる。 。 のいる。 のいる。 のい。 のい。 。 。 のい。 。 のい。 のい。 のい。	問題点: 課題な 持たいる。 即作下割で で で い い で で い で で い で で い に り れ は 問 に り に り に り に り に り に り に り に り に り に	どを記入。) のニーズに対所 19年度登録者	董成度 5-1 4 3-	工夫	4 自己評価 4
要性	(公共性、市民ニーズ、緊急性などを 4 センターの事業をできるだけ した結果、登録者数や参加者数が 親子のふれあいを通して自然体 に大いに寄与していると考えられ から嫁いできたお母さんには友達 大きい。また一人で子育てについ なく、多くのお母さんたちと悩み 題を解決する場としての機能が発	特増 分験る作てを がい。り悩共 がいます。 分験る作でを がいます。 がは、 がは、 がは、 がいます。 がいます。 がいまする。 のいまる。 のいまる。 。 のいまる。 のいまる。 のいまる。 のいまる。 のいまる。 のいまる。 のいまる。 のいまる。 のいまる。 のいまる。 のいまる。 のいまる。 のいまる。 のいる。 のいる。 のいる。 のいる。 のいる。 のいる。 のい。 。 のい。 のいる。 。 のいる。 のいる。 。 のいる。 のいる。 のい。 のい。 。 。 のい。 。 のい。 のい。 のい。	問題点: 課題な 持たいる。 即作下割で で で い い で で い で で い で で い に り れ は 問 に り に り に り に り に り に り に り に り に り に	どを記入。) のニーズに対所 19年度登録者	奎成度 5 1 4 3 2 7 2 7 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9	工夫	4 自己評価 4
要	(公共性、市民ニーズ、緊急性などを 4 センターの事業をできるだけ した結果、登録者数や参加者数が 親子のふれあいを通して自然体 に大いに寄与していると考えられ から嫁いできたお母さんには友達 大きい。また一人で子育てについ なく、多くのお母さんたちと悩み 題を解決する場としての機能が発	特増 分験る作てを がい。り悩共 がいます。 分験る作でを がいます。 がは、 がは、 がは、 がいます。 がいます。 がいまする。 のいまる。 のいまる。 。 のいまる。 のいまる。 のいまる。 のいまる。 のいまる。 のいまる。 のいまる。 のいまる。 のいまる。 のいまる。 のいまる。 のいまる。 のいまる。 のいる。 のいる。 のいる。 のいる。 のいる。 のいる。 のい。 。 のい。 のいる。 。 のいる。 のいる。 。 のいる。 のいる。 のい。 のい。 。 。 のい。 。 のい。 のい。 のい。	問題点: 課題な 持たいる。 即作下割で で で い い で で い で で い で で い に り れ は 問 に り に り に り に り に り に り に り に り に り に	どを記入。) のニーズに対所 19年度登録者	奎成度 5 1 4 3 2 7 2 7 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9	工夫	4 自己評価 4
要性	(公共性、市民ニーズ、緊急性などを 4 センターの事業をできるだけ した結果、登録者数や参加者数が 親子のふれあいを通して自然体 に大いに寄与していると考えられ から嫁いできたお母さんには友達 大きい。また一人で子育てについ なく、多くのお母さんたちと悩み 題を解決する場としての機能が発	特増 分験る作てを がい。り悩共 がいます。 分験る作でを がいます。 がは、 がは、 がは、 がいます。 がいます。 がいまする。 のいまる。 のいまる。 。 のいまる。 のいまる。 のいまる。 のいまる。 のいまる。 のいまる。 のいまる。 のいまる。 のいまる。 のいまる。 のいまる。 のいまる。 のいまる。 のいる。 のいる。 のいる。 のいる。 のいる。 のいる。 のい。 。 のい。 のいる。 。 のいる。 のいる。 。 のいる。 のいる。 のい。 のい。 。 。 のい。 。 のい。 のい。 のい。	問題点: 課題な 持たいる。 即作下割で で で い い で で い で で い で で い に り れ は 問 に り に り に り に り に り に り に り に り に り に	どを記入。) のニーズに対所 19年度登録者	奎成度 5 1 4 3 2 7 2 7 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9	工夫	4 自己評価 4
要性	(公共性、市民ニーズ、緊急性などを 4 センターの事業をできるだけ した結果、登録者数や参加者数が 親子のふれあいを通して自然体 に大いに寄与していると考えられ から嫁いできたお母さんには友達 大きい。また一人で子育てについ なく、多くのお母さんたちと悩み 題を解決する場としての機能が発	特増 分験る作てを がい。り悩共 がいます。 分験る作でを がいます。 がは、 がは、 がは、 がいます。 がいます。 がいまする。 のいまる。 のいまる。 。 のいまる。 のいまる。 のいまる。 のいまる。 のいまる。 のいまる。 のいまる。 のいまる。 のいまる。 のいまる。 のいまる。 のいまる。 のいまる。 のいる。 のいる。 のいる。 のいる。 のいる。 のいる。 のい。 。 のい。 のいる。 。 のいる。 のいる。 。 のいる。 のいる。 のい。 のい。 。 。 のい。 。 のい。 のい。 のい。	問題点: 課題な 持たいる。 即作下割で で で い い で で い で で い で で い に り れ は 問 に り に り に り に り に り に り に り に り に り に	どを記入。) のニーズに対所 19年度登録者	奎成度 5 1 4 3 2 7 2 7 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9	工夫	4 自己評価 4
要性	(公共性、市民ニーズ、緊急性などを 4 センターの事業をできるだけ した結果、登録者数や参加者数が 親子のふれあいを通して自然体 に大いに寄与していると考えられ から嫁いできたお母さんには友達 大きい。また一人で子育てについ なく、多くのお母さんたちと悩み 題を解決する場としての機能が発	特増 分験る作てを がい。り悩共 がいます。 分験る作でを がいます。 がは、 がは、 がは、 がいます。 がいます。 がいまする。 のいまる。 のいまる。 。 のいまる。 のいまる。 のいまる。 のいまる。 のいまる。 のいまる。 のいまる。 のいまる。 のいまる。 のいまる。 のいまる。 のいまる。 のいまる。 のいる。 のいる。 のいる。 のいる。 のいる。 のいる。 のい。 。 のい。 のいる。 。 のいる。 のいる。 。 のいる。 のいる。 のい。 のい。 。 。 のい。 。 のい。 のい。 のい。	問題点: 課題な 持たいる。 即作下割で で で い い で で い で で い で で い に り れ は 問 に り に り に り に り に り に り に り に り に り に	どを記入。) カニーズに対応 19年度登録者	室 成度 5 1 4 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	工夫	4 自己評価 4
要性	(公共性、市民ニーズ、緊急性などを 4 センターの事業をできるだけ した結果、登録者数や参加者数が 親子のふれあいを通して自然体 に大いに寄与していると考えられ から嫁いできたお母さんには友達 大きい。また一人で子育てについ なく、多くのお母さんたちと悩み 題を解決する場としての機能が発	特増 分験る作てを がい。り悩共 がいます。 がは、 がいます。 がいます。 がいます。 がいます。 がいまする。 がいまする。 がいまする。 のいまする。 がいまする。 のいまる。 のいまる。 のいまる。 のいまる。 のいまる。 のいまる。 のいまる。 のいまる。 のいまる。 のいまる。 のいまる。 のいまる。 のいまる。 のいまる。 のいまる。 のいまる。 のいまる。 のいまる。 のいまる。 のい。 のいまる。 のい。 のいまる。 のいる。 のいる。 のい。 のいる。 のいる。 のいる。 のいる。 のいる。 のいる。 のい。 のいる。 のいる。 のいる。 のい。 のい。 のいる。 のい。 のいる。 のいる。 のいる。 のい。 のいる。 のい。 のい。 のい。 。 のい。 のい。 のい。 のい。	問題点: 課題な 持たいる。 即作下割で で で い い で で い で で い で で い に り れ は 問 に り に り に り に り に り に り に り に り に り に	どを記入。) カニーズに対応 19年度登録者	奎成度 5 1 4 3 2 7 2 7 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9	工夫	4 自己評価 4
要性	(公共性、市民ニーズ、緊急性などを 4 センターの事業をできるだけ した結果、登録者数や参加者数が 親子のふれあいを通して自然体 に大いに寄与していると考えられ から嫁いできたお母さんには友達 大きい。また一人で子育てについ なく、多くのお母さんたちと悩み 題を解決する場としての機能が発	特増 分験る作てを がい。り悩共 がいます。 がは、 がいます。 がいます。 がいます。 がいます。 がいまする。 がいまする。 がいまする。 のいまする。 がいまする。 のいまる。 のいまる。 のいまる。 のいまる。 のいまる。 のいまる。 のいまる。 のいまる。 のいまる。 のいまる。 のいまる。 のいまる。 のいまる。 のいまる。 のいまる。 のいまる。 のいまる。 のいまる。 のいまる。 のい。 のいまる。 のい。 のいまる。 のいる。 のいる。 のい。 のいる。 のいる。 のいる。 のいる。 のいる。 のいる。 のい。 のいる。 のいる。 のいる。 のい。 のい。 のいる。 のい。 のいる。 のいる。 のいる。 のい。 のいる。 のい。 のい。 のい。 。 のい。 のい。 のい。 のい。	問題点: 課題な 持たいる。 即作下割で で で い い で で い で で い で で い に り れ は 問 に り に り に り に り に り に り に り に り に り に	どを記入。) カニーズに対応 19年度登録者	室 成度 5 1 4 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	工夫	4 自己評価 4

V Action & Plan (改善の内容及び次年度以降の計画)

	平成21年度にできる改善・改革	平成22年度以降にできる中期的な改善・改革
	☑ 現状維持 ☐ 休止·廃止 ☐ 事業統廃合	□ 現状維持 □ 休止·廃止 □ 事業統廃合
今	□ 予算充実 □ 予算削減 □ 手法見直し	□ 予算充実 □ 予算削減 ☑ 手法見直し
後	臨時補助員の勤務日数減、事務費の節約等に より経費節減にま取り組みつつ、参加者の受益	
の方	より経員即域にも取り組みうり、参加省の支益 者負担を原則に、今後も事業を進めていく。	支援センターを設置して、より効果的、効率的 な運営をしていく必要があると考えられる。
	なお、センターの統合については、親子で安	
自性	全に遊べる空間や駐車場等が必要となるため、	
性とそ	今後も検討を要する。	
そ		
の 理		
由		
		市内に子育て支援センターを設置し、子育て 支援策のネットワーク化を図る。
現		又扱泉のイグドラーグ心を囚る。
具状		
体維		
的持		
な以		
改外善の		
方場		
法合		
	効果(アウトカム)面	効果(アウトカム)面
	ж.(УУТ »Д) ш	ネットワーク化することにより、情報提供や
		情報収集が行いやすい。
71-		
改善金		
に現		
よな		
によってに		
▋期☆	コスト面	コスト面
 待される効果 かの場合)		センターを統合し1箇所にすることにより、
ではれる		管理運営コストが下がる。
る合		
効		
果		
	仮に事業を中止、統廃合した場合に予測される影響(プ	ラス面、マイナス面)
現		なくすことで、子育てに対しての不安感を軽減
中状止維	するとともに、子どもの健やかな発育発達に寄	与しているものである。
・持		
統の		
廃場		
合合 のも		
影記		
響入		
<u> </u>		